

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援ルームNolla		
○保護者評価実施期間	2024年 12月9日		～ 2024年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2024年 12月2日		～ 2024年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 1月20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個別のマンツーマン支援スタイルを活かした活動を通してお子様や保護者様の思いや利用ニーズに寄り添った支援プログラムを実施できること	・サービス提供記録を通して保護者様にコメントを頂き日頃のお子様の様子の情報交換やご質問にお答えできるようにしている。	・記録が簡潔で読みやすい報告ができるように配慮していく事 ・写真共有を通して、活動のねらいが伝わりやすい報告内容にしていける事
2	・個別のマンツーマン支援スタイルを活かした活動を通して本児の日々の状況に即した活動設定・目標設定の調整ができること。	・支援計画に基づいた支援が継続的に実施・振り返りができるよう、個別の支援活動を日案にて計画し記録を一人一人残している。職員間で共有・引継ぎを行ったり、月次の振り返りに役立っている。	・月次の支援振り返りや、支援計画更新前のモニタリングに全職員が参画し、情報共有ができるように業務分担をしていきたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・区分1のサービス提供時間(60分)で児童の入替が多く、入退室時が混雑する点	・送迎サービスを9割利用されている現状を踏まえ送迎車待ちの児童への配慮(待機場所の明確化)が個別対応となり児童達のコンディションによって環境調整が難しい。	・駐車場スペースに職員と移動し送迎車を待てるようにするなどスケジュールを児童とあらかじめ決めておくなどの活動の流れの徹底。 ・フロア内の環境整備(片づけ)などの人員を確保して速やかに調整ができるように、職員の動き等の研修を実施し改善していきたい。
2	・父母の会の活動支援や保護者会等、保護者同士で交流する事業所行事などが確立できていないこと。	・本人支援の充実には特化して取り組む事ができていたが家族支援・子育て支援には本格的に着手しきれていない現状がある。	・段階的に家族支援・子育て支援・保護者会とサービス提供が充実していけるようにまずは実績を残していきたい。 ・児童発達支援での就学前面談をまずは安定化させていく事で家族支援・子育て支援のニーズを引きだしサービス提供
3			